

国際会議等各種会議の 北海道開催推進に係る取組

日本政府観光局(JNTO)
MICEプロモーション部

2020年11月

1. 日本政府観光局(JNTO)ご紹介
2. MICE政府目標とJNTOの取組
 - (1) 国際会議誘致・開催支援
 - (2) M&Iの誘致・開催支援
 - (3) MICEブランディング・キャンペーン事業(認知度向上)
3. ウィズ・コロナにおけるMICE業界の現状
4. 北海道へのMICE誘致に関する取り組み事例

1. 日本政府観光局(JNTO)とは?

組織概要

- 正式名称 : 独立行政法人国際観光振興機構 (国土交通省 観光庁所管)
※通称として「日本政府観光局」、略称としてJNTO (英文名称: Japan National Tourism Organizationの頭文字) を使用しています。
- 国内拠点 : 本部 (東京)
- 海外拠点 : 22事務所 (ソウル、北京、上海、広州、香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、クアラルンプール、ハノイ、デリー、マニラ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント、モスクワ、ローマ、マドリード)

JNTOの活動

JNTOは世界22都市に海外事務所を持ち、外国人の訪日旅行の促進に向けて、海外現地目線に立ったプロモーション、マーケティングを行っています。

<主な事業>

- 訪日旅行市場に関する市場分析・マーケティング
- 海外現地旅行会社の訪日ツアー企画・販売の促進
- 海外現地メディアを通じた広告・宣伝
- ウェブやSNSを通じた訪日観光の情報提供
- 国際会議 (MICE) の誘致・開催促進
- 受入環境整備・向上支援
(ビジット・ジャパン観光案内所の認定)

※政府観光局 (National Tourism Organization)とは : 外国人旅行者の誘致活動を行う政府機関



JNTOの海外事務所ネットワーク

ニューヨーク、ロンドン、パリ、ソウル、シンガポールにMICE専門スタッフを配置

国土交通省 (Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism)

観光庁
(Japan Tourism Agency)

日本政府観光局
(Japan National Tourism Organization)

「観光立国」に向けた総合的かつ計画的な取り組み

- 政策の策定
- 外国政府との協議や関係省庁との調整
- **MICEの戦略の策定**
(国際MICE競争力強化委員会、経済規模調査等)
- **民間事業者や自治体との連携体制の構築**
(グローバルMICE都市強化対策委員会等)
- 受入基盤の強化。魅力ある観光地づくりの支援

訪日プロモーションの実施主体/ 海外22事務所を設置

- ビジット・ジャパン事業：訪日旅行プロモーション
- ツーリストインフォメーションセンターの運営・認定
- 訪日外客数や海外市場動向の発信
- **国際会議等MICEのマーケティング、開催誘致支援、人材育成等**
- 全国通訳案内士試験事務の実施

日本政府観光局(JNTO)の組織・活動

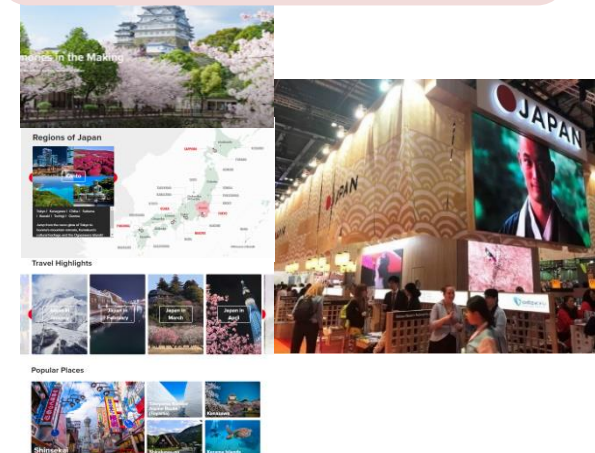
訪日旅行市場に関する
市場分析・マーケティング



海外現地旅行会社の
訪日ツアー企画・販売促進
(BtoBプロモーション)



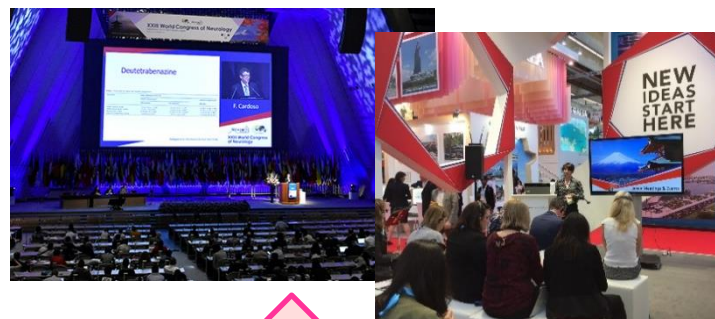
一般消費者向け
プロモーション・情報発信
(BtoCプロモーション)



国内事業パートナーとの連携



国際会議等(MICE)の
誘致・開催支援



受入環境整備・向上支援



Japan Convention Bureau

2. MICEの政府目標

日本再興戦略 –JAPAN is BACK– 2013年6月14日 閣議決定

海外から日本に対し、多くの人や優れた知見、投資を呼び込み、
2030年にはアジアNo.1の国際会議開催国として不動の地位を築く

観光立国推進基本計画 2017年3月28日閣議決定

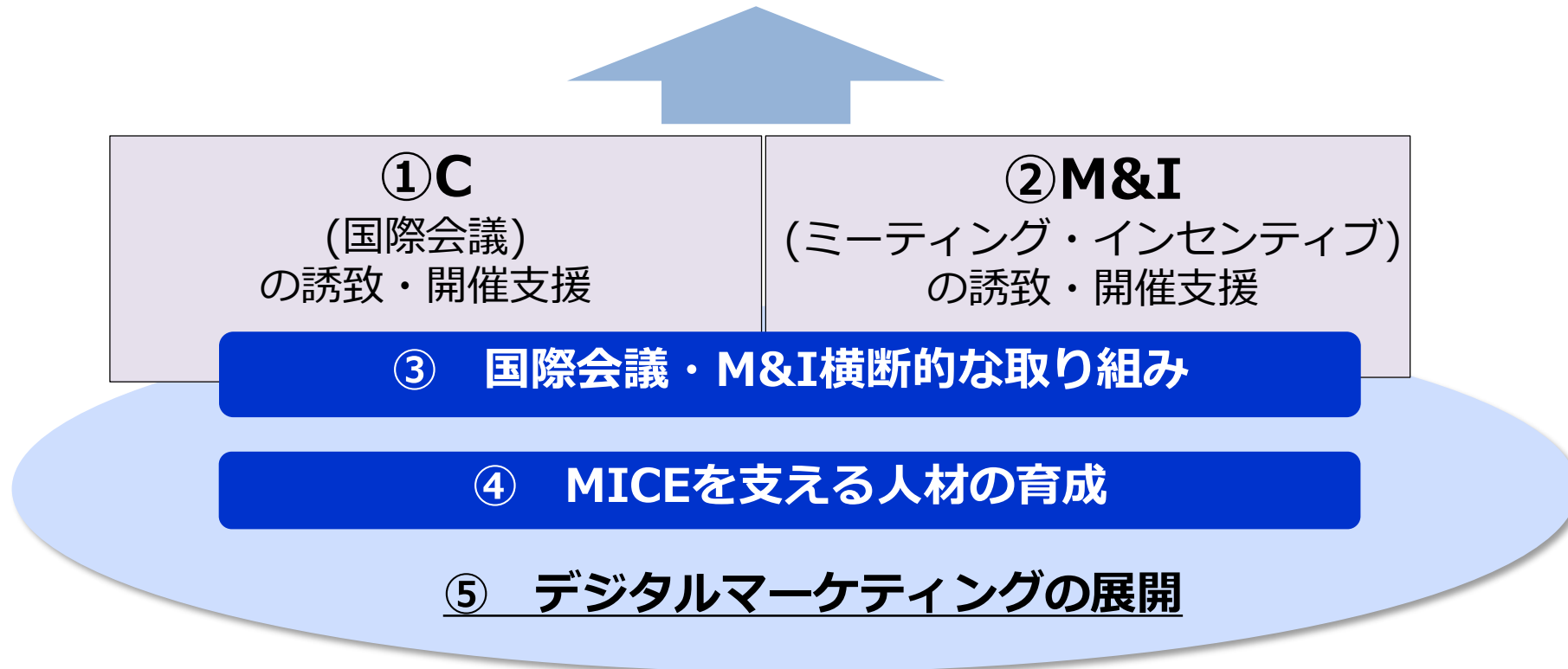
2020年までに国際会議開催件数をアジア主要5ヶ国において
全体の3割以上を占めるアジア最大の開催国の地位を維持する

MICE国際競争力強化委員会提言 2018年7月策定

官民挙げて目指すべきMICE全体目標

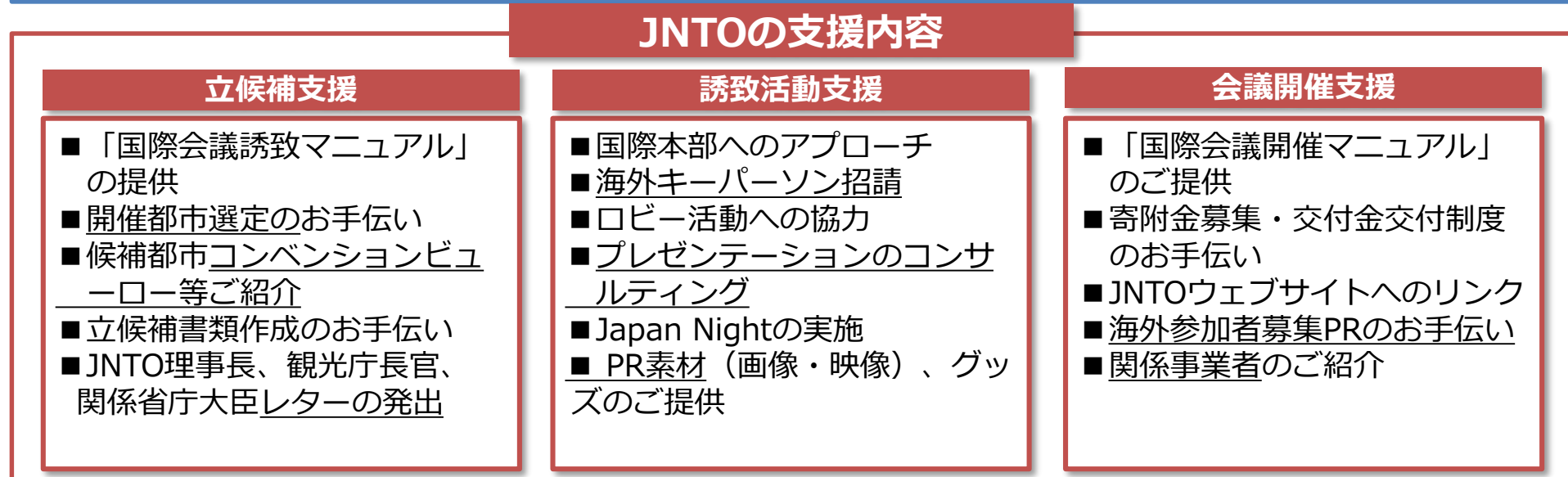
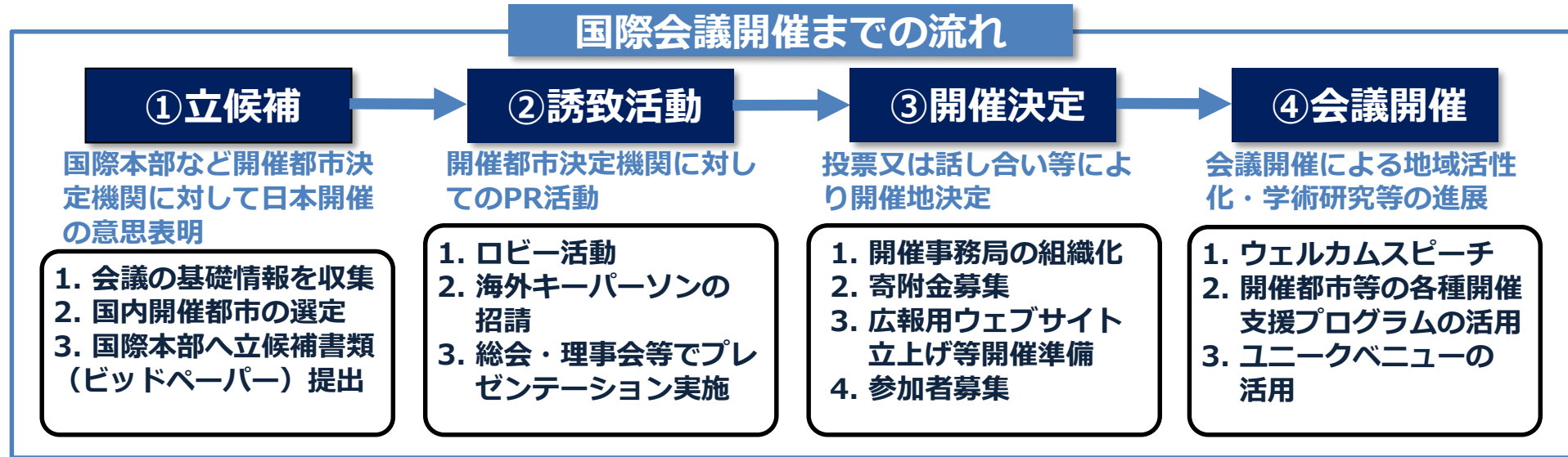
2030年 MICE関連訪日外国人消費相当額 **8,000億円**
(2020年 MICE関連訪日外国人消費相当額 **3,000億円**)

MICE全体目標	2020年度 MICE関連訪日外国人消費相当額 3,000億円
	2030年度 MICE関連訪日外国人消費相当額 8,000億円 (官民挙げて目指すべきMICE全体目標)
国際会議の目標	2030年 アジアNo.1の国際会議開催国として不動の地位を築く



5つの事業区分間の連携による総合的な誘致策の展開により、日本へのMICE誘致を推進

(1) 国際会議誘致・開催支援



国際会議等MICEを戦略的に誘致するため、産業界や学術分野において国内外に対し発言力やネットワークを有する方々を日本の「MICEアンバサダー」として委嘱。

MICEアンバサダーの活動

- ・ 日本への国際会議等の誘致・開催に向けた促進活動
- ・ 日本国内における国際会議開催の意義についての普及啓発活動
- ・ 会議開催地としての日本の魅力を海外に向けて発信する広報活動



チーム・ジャパンでの誘致活動支援

JNTOの
支援メニュー



コンベンションビューローの
支援メニュー

<JNTOによる国際会議誘致活動支援メニュー>

- ・ 立候補書類（ビッド）の作成支援
- ・ プレゼンテーションスキルアップ支援
- ・ プレゼンテーション資料作成支援
- ・ 開催地決定権のあるキーパーソン招請支援
- ・ 日本ブースの出展支援、ジャパンナイトの開催支援

<JNTOによるアンバサダー・ネットワーク形成支援>

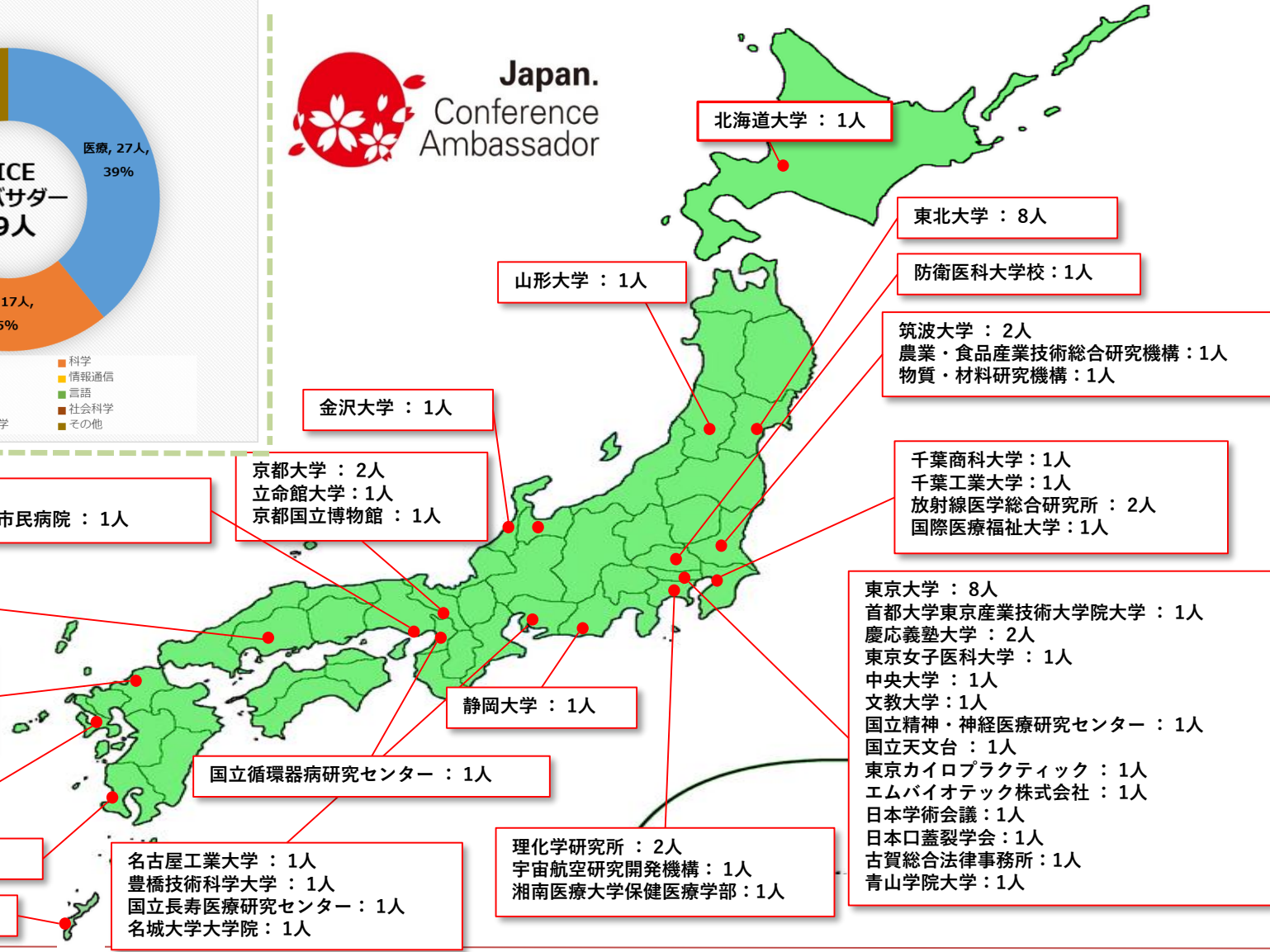
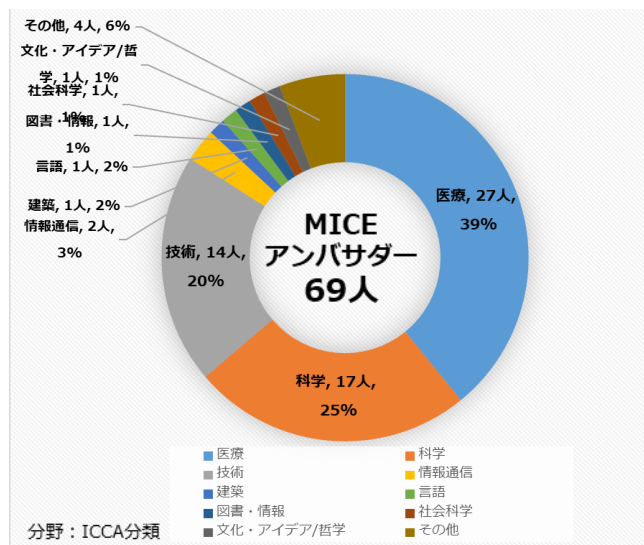
- ・ 「アンバサダーの集い」の開催



2020年度
「アンバサダーの集い」



MICEアンバサダーの配属・所属先（2020年9月現在）



国際会議の誘致・開催支援

国際会議海外キーパーソン招請

開催地選定に際し、国際本部のキーパーソンを個別に招請し、候補地の現地視察をサポート。国内主催者との面談の機会を設けることで、国際本部の意向と条件を確認。チーム・ジャパンとしてのサポート体制をPR



オンライン Meet Japan 2020

新様式での
トライ!

名称	オンライン Meet Japan 2020
目的	国際会議の会議開催地決定に権限を持つ、または影響力を持つ主催団体等のキーパーソンに対し、国内の各都市・地域の魅力やインフラ情報、支援サービスについての情報提供を行うとともに会議開催条件を入手することにより、将来的に日本での国際会議開催を促進する。
内容(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・バイヤー向けセミナーの実施 ・バーチャルでのバイヤーに対する都市視察 ・国内コンベンションビューロー担当者とのオンライン商談会等
日程	2021年1月末(予定)
募集人数	バイヤー約15名
募集团体	セラー10団体



(2) M & I の誘致・開催支援

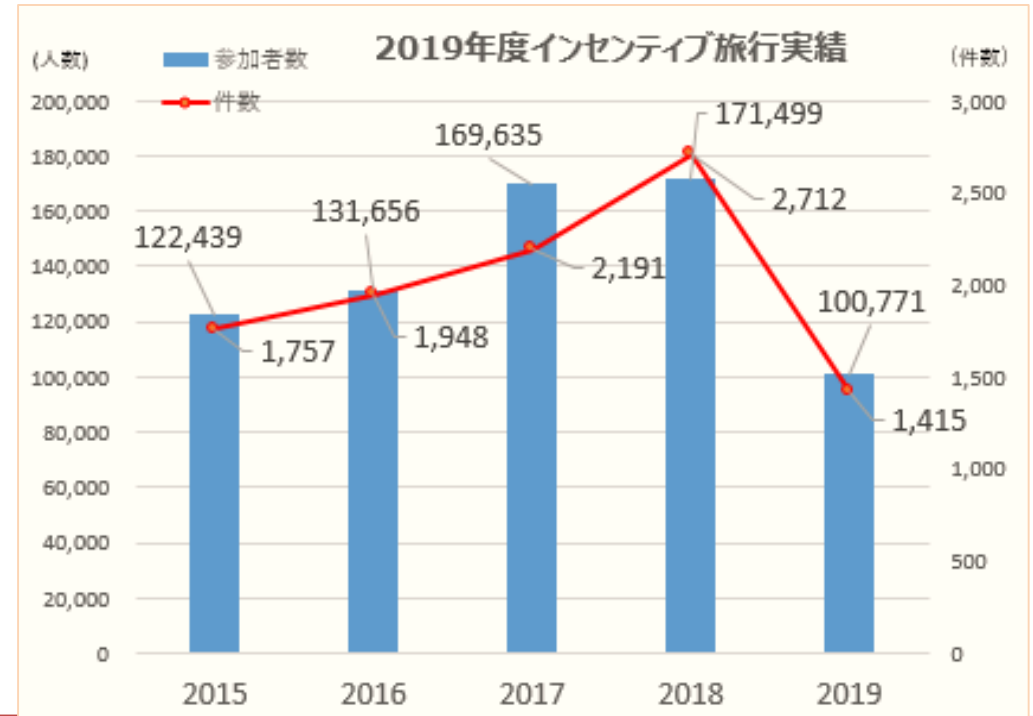
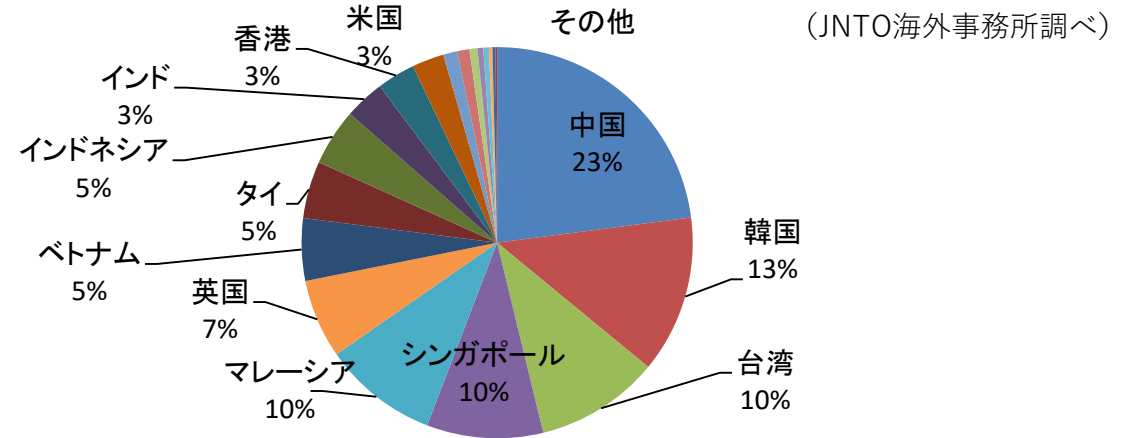
訪日インセンティブ旅行の誘致・開催実績

2019年度実績

件数： 1,415件(前年度比：-48%)
 人数： 100,771人(前年度比：-41%)

人数順位

1	中国	23,117人(前年度比：-55%)
2	韓国	13,116人(前年度比：-72%)
3	台湾	10,335人(前年度比：-62%)
4	シンガポール	9,692人(前年度比：-21%)
5	マレーシア	9,575人(前年度比：+24%)
6	英国	6,580人(前年度比：+789%)
7	ベトナム	5,194人(前年度比：+144%)
8	タイ	4,768人(前年度比：+19%)
9	インドネシア	4,741人(前年度比：+62%)
10	インド	3,330人(前年度比：+56%)



海外MICEセミナー・商談会

- 海外の国際会議等主催者やインセンティブ旅行関係者を対象としたセミナーを海外各地で開催し、MICE開催地としての日本のよさをアピール。
- 各セミナーの後に商談会も開催。

対象：インセンティブ旅行主催企業・企画旅行会社

※オレンジ：2020年新規

開催地：インドネシア（ジャカルタ）、マレーシア（クアラルンプール）、台湾（台北・台中）、韓国（ソウル）、シンガポール、ベトナム（ホーチミン）、インド（デリー**、ムンバイ）フィリピン（マニラ）、中国（北京、**上海**、**広州**）**

※2020年度は、北京、上海、広州、ソウル、マニラ、シンガポール、ジャカルタ、デリー、ムンバイの中止が決定しています。

概要：インセンティブツアー取扱旅行会社（及び企業）を対象に、日本各地の魅力や支援サービス、サプライヤーのサービスを紹介するセミナーや商談会を実施。有望なインセンティブ旅行案件の獲得を図る。



名称	JAPAN Best Incentive Travel Awards 2020
目的	訪日インセンティブ旅行を表彰し、新たな訪日インセンティブ旅行市場の新規開発・活性化を図る。
対象	2019年4月1日～2020年3月31日（出発日）までに実施された100人泊以上の訪日インセンティブ旅行
応募資格	全世界の旅行会社やミーティングプランナー等、または日本側関係者（訪問都市・コンベンションビューロー・ホテル等施設）
募集期間	2020年7月15日～9月16日までオンラインで募集
表彰案件	<p>※2019年度実績</p> <p>《大賞》 JTB Europe, Corporate Events and Travel 「HONDA Swiss Dealer Contest - Back to the Origins」 (フランス)</p> <p>《企画賞》 中国国旅 (广东) 国际旅行社股份有限公司 「広州コンサルティング会社インセンティブ旅行」 (中国)</p> <p>《貢献賞》 Japan View (Thailand) Co., Ltd. 「Good Time In Akita」 (タイ)</p>
表彰基準 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行開催後に得られた主催者の効果 ・地域への貢献 ・新規ルートやコンテンツの開発 ・アトラクションやユニークベニューの利用等、斬新な企画 ・環境に配慮した運営、ICTを活用したプログラム等、新たな試み
表彰	新型コロナウイルスの状況を踏まえ、受賞案件の授与方法を検討中。



2019年度

応募件数：68件 受賞案件：3件



MICE国際団体会報

貢献賞

Good Time In Akita
(6日間・27名)

Japan View (Thailand) Co., Ltd. (タイ)

- 3日間を秋田で滞在。
- ファームステイによる地域住民との交流や農業といった東北らしいコンテンツ
- 稲庭うどん工場・地元スーパー視察（産業観光）
地元産業を活用した社員研修
- 開催地の知名度向上・「再訪意欲」を醸成



農家でのファームステイ

日本のMICEブランドの策定 (2015年4月)

日本でのMICE開催を実現するために海外の主催者等に対する広報活動を強化するとともに、日本のMICE関係者とのオールジャパン体制の構築を目指す。

ブランド名

Meetings & Events

タグライン

New ideas start here

ブランドロゴ



Japan. Meetings & Events
New ideas start here

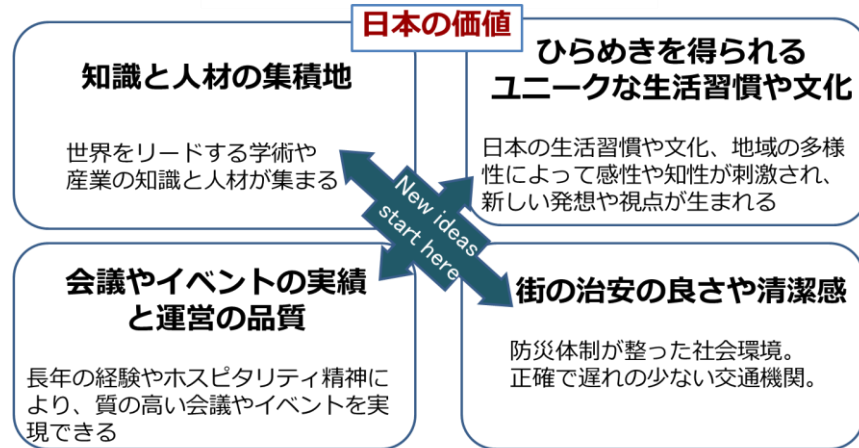
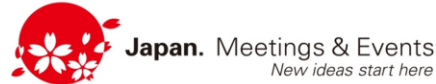
日本のMICEが目指す姿

日本の感性と知性が、ビジネスを未来へ動かす

目的 「4つの価値」をベースにしたブランドコンセプトの理解・浸透

・ブランドコンセプトを根幹とした横断的な取り組みを行い、あらゆるMICE関連事業に対しブランドコンセプトを反映させる有機的な連携を働きかけ、国内外における日本のMICEブランドの**認知・深化・定着**を目指す。

ブランドコンセプト



ターゲットへの訴求

主催者（海外・国内）

国内ステークホルダー

事業の内容

- ◆国内外における広告展開
 - ・GDNなどの運用型広告
 - ・欧米ビジネス媒体への広告
 - ・MICEプランナー向け業界誌広告
 - ・国内学会誌・ビジネス誌への広告



BBC



日経ビジネス



MPI会報誌

4つの価値に基づいた施策

- ◆MICE国際関連団体との連携
- ◆取材・撮影によるMICEコンテンツ素材の収集
- ◆Japan Best Incentive Travel Awards
- ◆ブランド認知度調査
- ◆国際会議誘致・開催貢献賞

施策を効果的にターゲットに訴求

招請事業MeetJapan MICEセミナー



- ・見本市やセミナー等での商談
- ・招請事業

会議開催地選定

海外見本市IMEX Frankfurt



- ・見本市での広報活動
- ・ネットワーキングイベント
- ・広告展開

開催地決定

会議開催 & 参加

デジタルを通じて
あらゆる層へのアプローチが可能
オンライン&オフライン事業を
組み合わせ、相乗効果を図る



開催地検討

開催経験の共有

プレスリリース

- ・決定のプレスリリース
- ・開催地の広報活動

- ・催事誌等
- ・開催時情報発信

- ・実績リリース
- ・表彰/アワード
- ・講演等



国際会議主催者セミナー



インセンティブアワード



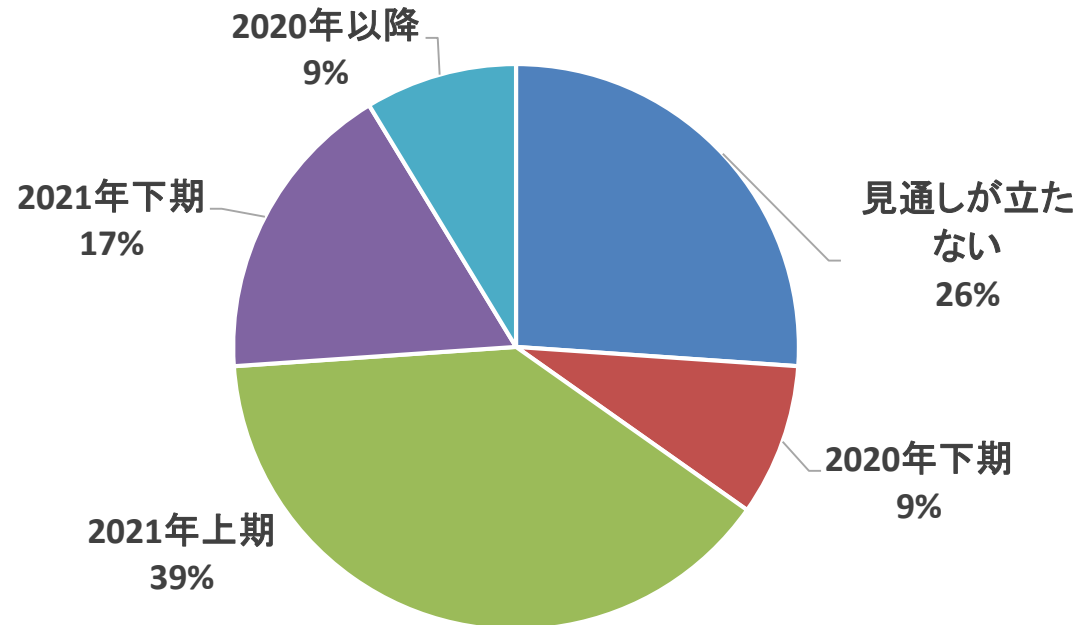
Case Studyの活用

MICE開催時の様子を画像・動画・参加者の声等を通じて情報発信し、新規需要の喚起につなげる。主催者・参加者自身の情報発信網も活用。

ウィズ・コロナにおけるMICE業界の現状

訪日インセンティブ旅行は2020年1月より劇的に減少

Q. インセンティブ旅行の回復想定時期は？



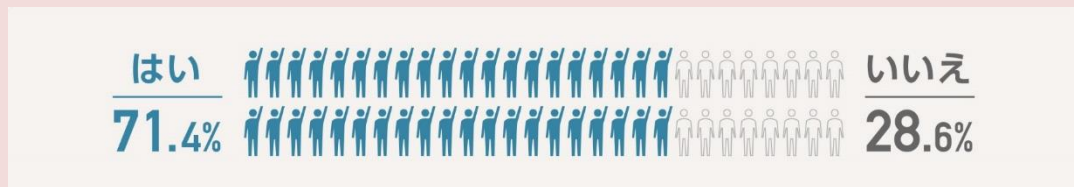
(JNTO海外事務所調べ)

インセンティブ旅行の回復は
企業の経営安定化と
開催地の安全性確保による

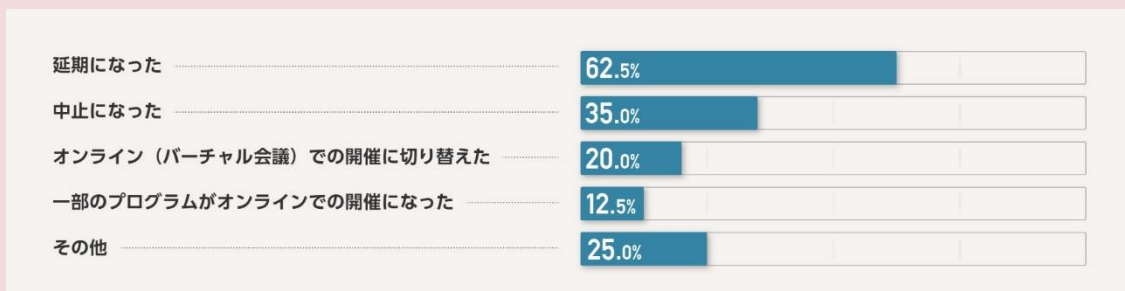
国際会議主催者への緊急アンケートを実施

【アンケート詳細】 実施期間：5月22日（金）～6月2日（火） / 対象：MICE アンバサダー 回答数：56件

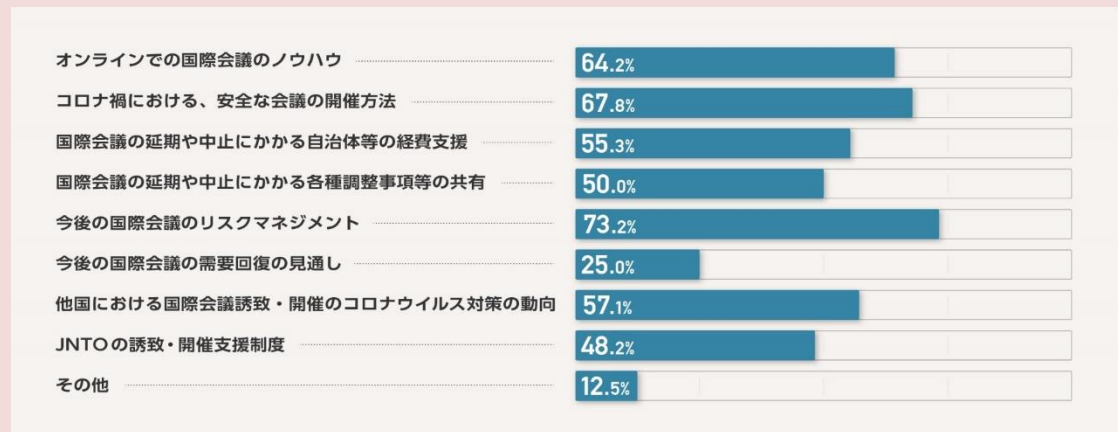
Q1. 新型コロナウイルスの影響で、ご自身が関わっておられる国際会議の誘致・開催状況に変更はございましたでしょうか？



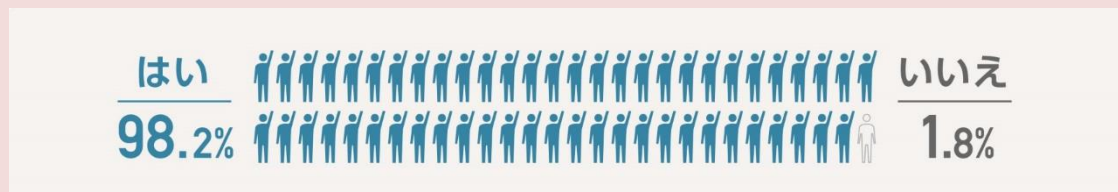
Q2. Q1で、「はい」と回答された方は、詳しい状況をお知らせください。



Q3. コロナ禍における国際会議の誘致・開催に関して、今皆様が必要とされている情報は何でしょうか？



Q4 新型コロナウイルスの影響で、全体的な傾向として、今後の国際会議の在り方に変化が生じると思われますか？



主催者側に感染症予防
対策が求められる！

海外から参加者が渡航
できない！

オンライン或いはハイブ
リッド会議はどうしたら良
い？

MICEアンバサダーのアンケートを受けて、
「時代の変化に応じた会議運営と、その将来像」を
テーマに国際会議の「今」と「これから」を順序公開

特設ページ名:

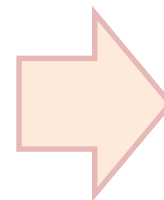
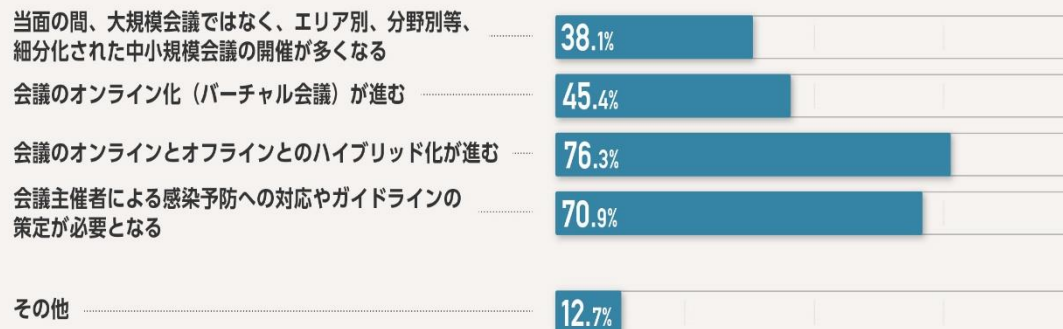
変化の時代における国際会議のカタチとは (<https://mice.jnto.go.jp/feature/newnormal>)

Q5. どのような変化が生じるとお考えでしょうか？

【誘致】



【開催】



課題解決のための情報集約・発信

共通課題

- ① オンライン会議やハイブリッド会議の運営ノウハウ
- ② 安心・安全な会議運営
- ③ 国際会議の今後と日本の強み等

【オンライン開催のケーススタディを公開中】

日本整形外科学会学術総会

<https://mice.jnto.go.jp/features/newnormal/article3.html>

日本皮膚科学会総会

<https://mice.jnto.go.jp/features/newnormal/article1.html>

早く、広く情報発信

- ・日本におけるMICE開催の意義や、JNTOの支援活動について情報発信
- ・都市や国内MICE事業者の方々の取り組みを集約・発信
- ・開催事例や検証、バックデータの紹介

facebook

LinkedIn

Facebook
「JNTO - 国際会議誘致・開催支援」

- ・アカウントURL：
<https://www.facebook.com/japanconvention/>



LinkedIn
「JNTO - 国際会議誘致・開催支援」

- ・アカウントURL：
<https://www.linkedin.com/company/japan-convention-bureau/>



※LinkedInは、日・英で1つのアカウントのみ。
日本語・英語の投稿を、それぞれの言語ユーザーに出し分ける形で運営。

MICE競争力に関するコンテンツ充実

- 国内都市の学術・産業集積の調査分析等を行い、日本の都市がMICE主催者等にアピールすべき強みや特徴を明確化
- 海外競合都市の戦略や強みを分析し、資料として紹介

主催者向け国内都市情報発信（国内外）

国内の16都市にオンラインでヒアリングを実施

#4 TOKYO
定量データの分析結果

東京圏の強化した産業 (学業平均) 1.0

産業 2.9

情報通信 1.6

教育 1.1

臨床系学分野の論文 被引用件数 (累計1,495,448件)

42%

633,922件

全国に占める 新規事業所蔵の割合 (2014年~2016年)

73%

グローバル企業センター ランキング

アジア1位 世界3位

過去に開催された 代々の国際会議

International Water Association 2018 (参加者: 9,000人)

SIGGRAPH Asia 2018 (参加者: 2,000人)

学術集積

東京大学をはじめ、世界的権威や先進的な研究に取り組む研究者、国際的な知名度・プレゼンスの高い大学・研究機関が集積。

近年では、オートファジーやニュートリノ振動等の分野でノーベル賞受賞者を生んでおり、先端医療・物理学等の基礎研究の分野でも世界的な実績を生んでいる。

主催者・スポンサーの声

IWA 2018では、東京圏が「Principles for Water Wise Cities」に署名している。数回、このような社会的なメッセージを伝えることができた。産学官の幅広い関係者の協力に実施したことで、参加者間のネットワークや多くのスポンサーとの交流が実現した。

産業集積

日本橋エリアには製菓分野をはじめとした先端産業（再生医療等）の世界的な研究開発拠点が集積している。

また、生物学・医学の分野では、東京大学の大規模な施設がオートファジーの仕組みを解明し、ノーベル生理学・医学賞を受賞している。オートファジーの分野は、パーキンソン病や認知症の発症に関与しているため、世界的に注目を集めている。

国際会議開催実績

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

日本橋は、400年以上の歴史の中で、日本に最先端の産業・研究開発拠点を集積させてきた。その中でも、再生医療（再生医療等）の世界的な研究開発拠点が集積している。

また、生物学・医学の分野では、東京大学の大規模な施設がオートファジーの仕組みを解明し、ノーベル生理学・医学賞を受賞している。オートファジーの分野は、パーキンソン病や認知症の発症に関与しているため、世界的に注目を集めている。

学術集積

再生医療

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

学術集積

再生医療

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

学術集積

再生医療

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

学術集積

再生医療

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

学術集積

再生医療

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

学術集積

再生医療

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

海外都市の戦略情報提供（日本語）

国際会議の誘致施策・産業振興戦略等の集約

海外都市調査のアウトプットの確認
報告書 4~5枚バージョン

シドニーはオーストラリアの経済都市としてアジア大洋州の中でも国際会議誘致の高い実績を持つ。主要施設であるICCシドニーは、2016年より規模を拡張し、大規模国際会議に注力

- シドニー市および、ニューサウスウェールズ州が管轄するシドニー都市圏が対象。
- 南半球屈指の経済都市であり、アジア大洋州とのアクセス性が高い。ターリンハーバーに立地するICCシドニーはアジア大洋州内の中でも最大規模の複合MICE施設となっており、2016年12月開業後、大規模国際会議の誘致に成功している。
- コンベンションビューローであるBESydneyは、国外でのマーケティング・プロモーション活動を積極的に実施する他、IT・科学・医療・工学・金融分野等シドニー市が注力する分野の国際会議誘致に積極的に取り組んでいる。

都市概要

シドニー市

シドニー都市圏

人口：531.2万人※

GRP：36.6兆円※

国際アクセシビリティ

- 国際線就航本数：57都市
- 国際線利用者数：1,560万人

国際会議関連

- 国際会議施設（最大収容人数）ICC Sydney (主要ホール8,000席；展示面積：32,567㎡)
- ICCA件数・参加者数 (14-18') 397件、17.5万人

国際会議の誘致・開催に係る主な取組

- シドニー市のコンベンションビューローは、Business Events Sydney、ニューサウスウェールズ州ではDestination New South Walesが広域連携を軸に観光・MICE政策を管轄。
- BESydneyは、シドニー市が戦略として掲げるIT・科学・医療・工学・金融等の分野で112名の研究者等をグローバルアンバサダーに任命。
- 市を挙げて立地企業、施設等のSDGs対応能力強化に取り組むほか、ICCシドニーが環境に配慮した取組を展開。

過去の主要な国際会議

名称	開催年	参加者数	産業分野
SIBOS'18	2018	7,500	金融
World Congress of Accountants	2018	6,000	経営
IBA	2017	3,918	法律
International Conference for Machine Learning	2017	2,357	IT
OpenStack Summit	2017	2,300	IT

ICCシドニーは2016年12月に開業（旧施設の大規模拡張・整備を実施）。南半球最大のMICE施設として、大型国際会議を積極的に誘致・開催。

公開時期 2020年11月頃予定

BBCの活用 “How is Japan's business event industry adapting to Covid-19”

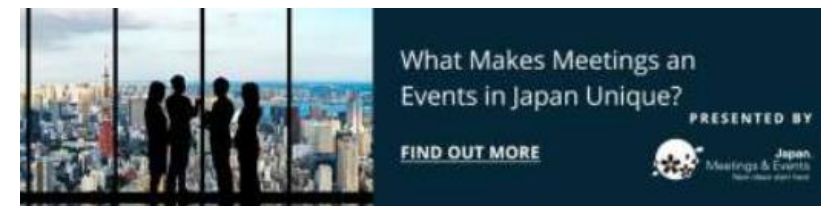
将来的なMICEのデスティネーションとしての日本の強みを情報発信

コロナウィルス感染症との共存の時代に於ける企業会議、インセンティブ、国際会議等の現状及び今後の世界的動向、業界のトレンド等主催者が関心を持つ情報

1. 日本の「新しい生活様式」への取り組み
2. その他ケーススタディー、ファクト・データ、各都市のMICEの魅力等



2019年度 広告バナー



- ダウンロード可能なPDFドキュメント
- JNTOのMICEウェブサイトに掲載
- BBC.com上に簡単なサマリーページを掲載

実施時期

2020年9月8日～2020年12月末

北海道へのMICE誘致に関する取組事例

JNTOのMICEウェブサイト(日本語/英語)にて北海道を紹介

The screenshot shows the JNTO website's 'Global MICE Cities' page for Sapporo. The header includes the JNTO logo and navigation links like 'WHY JAPAN', 'PLAN YOUR EVENT', 'JAPAN INCENTIVE', and 'About Us'. The main heading is 'Global MICE Cities' with a globe icon. Below it is a section for 'Sapporo' featuring a night cityscape image and descriptive text about the city's natural environment, industries, and international events.

Global MICE Cities

Sapporo

Set in a rich natural environment, this is one of Japan's most thriving regions for agriculture, veterinary sciences and geosciences. In addition to these three industries, Sapporo boasts a pool of scientific and technical knowledge in fields such as medicine, environment, arctic research, media arts, and so on. The former host of Winter Olympics, Sapporo is also known as a premier winter destination, hosting various international events such as Sapporo Snow Festival.

With a population of almost 2 million, Sapporo is Japan's fifth largest metropolis, over 60% of which is covered by greenery and 6 meters of snow for the period of 132 days a year. Sapporo has been a longtime frontrunner of local production-local consumption, with an overwhelming food sufficiency rate of 208%, which is five times more of Japan's average, giving the destination its reputation and brand value as Japan's leading gourmet city, not to mention its beer. Home to some of Japan's top universities & research institutions such as Hokkaido University, Sapporo offers an advanced environment for international meetings and business events, with a large selection of state-of-the-art venues such as Sapporo Convention Center. In recent years, Sapporo and its prefecture Hokkaido has developed into one of the world's premier winter sports destinations, attracting a large number of visitors from all over the world.

(日) <https://mice.jnto.go.jp/>

(英) <https://www.japanmeetings.org/>

The screenshot shows the 'Case Studies' section of the JNTO website. It features a navigation bar with 'Japanese Art Islands and Traditional Festivals' and 'Exclusive Experiences'. The main heading is 'Large Group Tour of Hokkaido' with a baseball stadium image. Below the image is a detailed description of the tour's purpose, duration, and activities.

Case Studies

Large Group Tour of Hokkaido

To improve company unity and fellowship through a trip for all employees and to reward employee excellence and business award winners.

Destination: Hokkaido
Duration: 5 nights, 6 days
Delegates: approximately 6,500

All the employees had a satisfying experience. They could participate in social activities while traveling with colleagues. The program helped to increase company spirit. For a long time, the company has promoted activities to give incentives to employees for excellence. Content and schedules were adjusted so that company executives would also be able to join. In particular, watching a baseball game at Sapporo Dome was interesting. And it was a wonderful touch to be able to send a message to top performers in the company for display on the Dome screen.

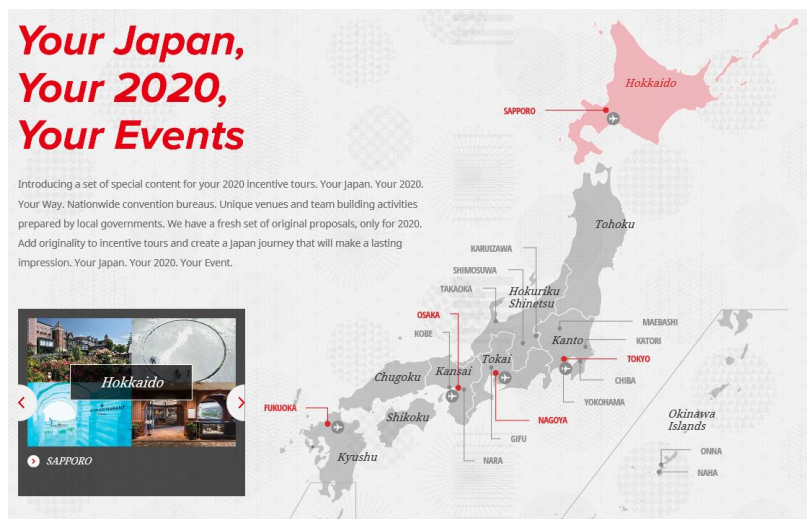
Over a 2-week period, participants were divided into multiple groups, with each group staying 6 days in Hokkaido. The delegates were able to personalize their program with time visiting famous sights in Sapporo, and also enjoyed live sporting events and team building activities.

On the 2nd day, there was a special lecture and an awards ceremony in Tokachi. Arrangements were made for accommodations for tour members.

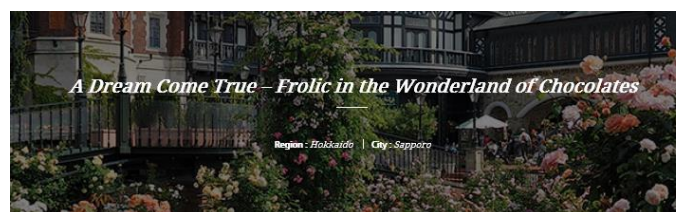
海外への情報発信事例

2020年インセンティブ誘致特別キャンペーン

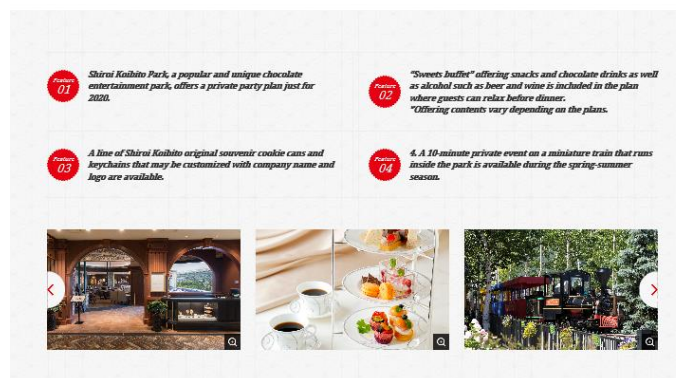
JNTOのMICEウェブサイト(英語)にて北海道の2施設のプログラムを紹介



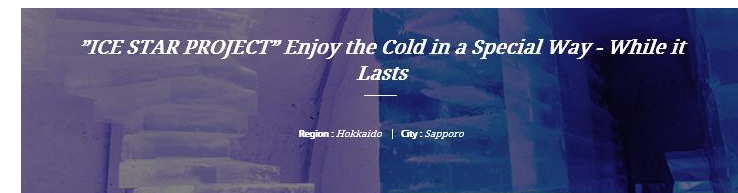
※オリパラ開催によるクラウンディングアウト対策として、2020年に体験できる特別なプログラム等を紹介。



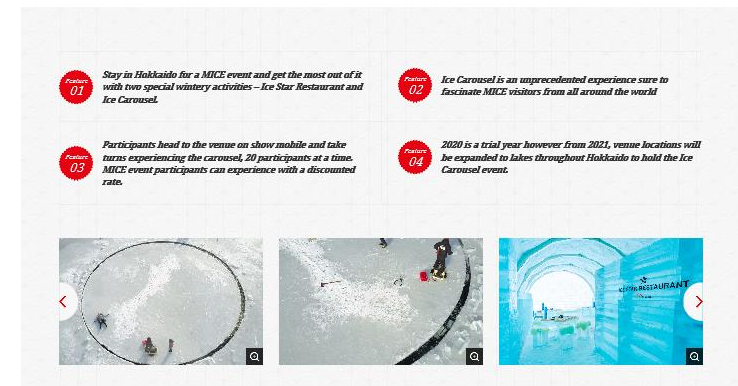
“ Satisfy your MICE requirements and your sweet tooth at this chocolate-themed park in 2020. The park is operated by a confectionery company that makes white-chocolate sandwiched cookies named Shirai Koibito (white lovers) in Hokkaido, the northernmost big island well known for its quality dairy products. After a journey through space and time to witness the history of chocolate, savor the fresh sweets and refreshments at the “sweets buffet” while viewing magnificent scenery from the lounge window. ”



白い恋人パーク貸切プログラム



“ Experience MICE only as you can in Hokkaido during winter. Wrap up a productive day with a party at the Ice Star Restaurant, which mysteriously appears in the Kiroro forest every winter. A welcome cocktail is served in a glass made of ice. If there's no conference during the day, grow team spirit by experiencing the Ice Carousel at a discounted fee. Immerse yourself in the nature of Hokkaido with all your senses by lying on a frozen lake located in a deep snowy forest, looking up at the sky. Then enjoy Hokkaido cuisine in the warm indoors. For MICE in the winter season, Hokkaido is where it's at. ”



ICE HOTEL チームビルディングプログラム

北海道へのMICE誘致に関する取組例（インセンティブ）

フランス市場インセンティブ旅行キーパーソン招請事業

時期: 2020年2月

行程: 東京、京都、札幌(雪まつり、札幌グランドホテル、大倉山ジャンプ競技場、サッポロビール博物館、京王プラザホテル)

被招請者: フランス MICEバイヤー5名

目的: 体験プログラム、チームビルディングなどのアクティビティを楽しんでもらいながら、現代都市(東京)、伝統文化(京都)、自然・温泉(札幌)といった日本の魅力を最大限感じてもらう。



2020ASEANTA総会（札幌市） 誘致支援

支援内容：

- ①JNTOシンガポール事務所よりキーパーソンを紹介。
- ②シンガポール事務所MICE専任者が視察旅行（2020年2月）に同行。
- ③キーパーソンの航空券3名分提供。

JNTOをご活用ください。

お問い合わせ : convention@jnto.go.jp

WEBサイト : <https://mice.jnto.go.jp>



Japan. Meetings & Events

New ideas start here